

令和2年度 長野県発達障がい者支援対策協議会における主な取組内容

次世代サポート課

1 連携・支援部会

- (1) 診療体制部会と合同で、学習障がいのライフステージにおける教育と医療の連携について検討
- (2) 特に高校入試については、学校と病院の連携のあり方について「病院からどのような情報をもらえばいいのか」「病院と連携するために必要な手続きは何か」「病院から得た情報を生かして学校でできることは何か」というような具体的な内容を検討
- (3) 発達障がいサポート・マネージャーの配置について、その役割を「①必ずやらなければならないこと」、「②自分の得意分野を生かしてやること」、「③やってはいけないこと」の3つに整理

2 自立・就業部会

- (1) 発達障がいサポート・マネージャーと子ども・若者サポートネット事務局との意見交換の成果を反映した「居場所」の運営について協議
- (2) 「困難を有する求職者層（障害者・氷河期世代・長期的無業者等）」対象の支援体制構築のための検討
- (3) 法務省管轄の支援関係者との情報交換・意見交換の機会づくり

3 普及啓発部会

- (1) サポーター養成講座の講師育成プログラムの作成とその運営等のシステム化の検討
- (2) サポーター養成講座の所属別講座（教師・行政職員・企業）の内容・実施等を検討
- (3) 発達障がい児（者）がいる家族支援の検討（乳幼児期、学齢期・成人期）

4 診療体制部会

- (1) 人材育成と各地域での診療体制の充実（診療できる医師の偏在についても検討）
- (2) 小児医療と精神医療の対応などの相違を医師も患者側も知ることも含めた、円滑な成人期医療への移行
- (3) 学習障害への対応については、医療で行うべきことをライフステージごとに分けて整理し、体制の構築と啓発を検討（連携・支援部会と協働）

厚生労働省 障がい福祉計画・障がい児福祉計画基本指針

医療的ケア児等に対する総合的な支援体制の構築に向けて、市町村もしくは圏域で関連分野の支援を調整するコーディネーターとして養成された相談支援専門員 保健師 訪問看護師 等を配置する。

- コーディネーターは・・・
- 多分野にまたがる支援の利用を調整し、総合的かつ包括的な支援の提供につなげる
 - 協議の場に参画し、地域における課題の整理、地域資源の開発等を行う
- } 医療的ケア児に対する支援のための地域づくりを推進する

医療的ケア児等 の役割	1. 医療的ケア児等と家族の個別支援	2. 多職種協働支援の調整	3. 地域全体の支援体制の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時、地域の窓口になる ・本人の成長、家族の生活の変化に応じ、切れ目ない個別支援チームを作る ・市町村と協力し災害時個別支援計画を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の事業所間や、多様な機関の看護職をはじめとする専門職相互の連携・協力体制の促進 ・多職種間の情報共有、助言、関係調整を行い、多職種連携、協働を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会・連携推進会議への積極的な参画 ・圏域全体の医療的ケア児等の実態把握・情報更新、県との共有 ・支援資源の把握と将来の需要を見越した開拓をすすめる、支援向上のための助言、制度利用を促進する ・支援人材の育成、配置調整、スキルアップのための指導・研修実施

医療的ケア児等 支援スーパーバイザーの役割	1. 代表コーディネーターの後方支援	<ul style="list-style-type: none"> ・代表コーディネーターと困難支援の事例、看護連携、資源開拓等の共有とその取組みの協力、助言し、好事例を収集・提供する ・個別支援や地域支援資源の開拓に活用できる制度や施策について最新の情報を収集し、わかりやすい形で提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域のニーズに応じた人材育成、スキルアップの研修の企画・実施に協力する
	2. 全県の支援体制向上に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学病院、県立こども病院と圏域基幹病院・医療型短期入所等の医療機関の役割分担、連携の促進 ・医療的ケア児等支援連携推進会議等を通して、長野県医師会、長野県看護協会、長野県薬剤師会、信州大学医学部等との協力による全県的長期的な医療支援人材育成、地域リハビリテーションや成人移行期支援体制の構築に努める 	

医療的ケア児等 の配置と報酬	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等代表コーディネーターは地域の自立支援協議会、もしくは連携推進会議において選出、実情に応じて配置する ・報酬の予算拠出については国の医療的ケア児等総合支援事業（地域生活支援促進事業）の活用をはじめ、圏域の実情に応じて市町村の協議で定める
-------------------	--

各圏域の取り組みと好事例

	個別のケース支援	多職種連携支援の調整	地域支援体制の向上
佐久	医ケア児等コーディネーターによる医療的ケア児の地域校への就学に向けた自治体との協議		
上小	東御市医療的ケア児支援体制会議を立ち上げ、（障害福祉課・健康保健課・子育て支援課・保育課・教育課・基幹C）来乳児の地元保育園の受け入れフロート検討会議を市に位置付けた。 上田市では、多職種連携による在宅介護による看取り支援を通じ、チーム支援実践の在り方について、学びと今後の方向を共有。（チーム連携モデル）	医療的ケア児等支援連携推進委員会を圏域協議会に立ち上げ、医療・福祉・教育・行政の参画の下で委員会での検討を実施。本年度検討内容（児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の医療的ケア児支援体制の確保／医療的ケア児等コーディネーターの具体的配置検討	医療連携によるレスパイト入院体制の整備検討（依田窪病院 地域包括ケア病棟と上田市内のレスパイト入院が可能な病院についての情報共有）／訪問看護ステーションの身近な支援体制に向けた事業所体制の検討（医療体制検討に向けて、医療事業者と事務局だけの委員会を開催）
諏訪		個々の児の基本情報シートの整備。 この活用を通して退院・地域移行時の窓口としての医療的ケア児等コーディネーターの役割を明確化する取り組み	
上伊那		療育コーディネーター＝医療的ケア児等コーディネーターによる医療的ケア児等受け入れの事業所訪問（重心・医ケア部会長＝保健福祉事務所障害福祉係長同行）	
飯伊	地域の支援者により、亡くなったお子さんの振り返りカンファラス実施	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内看護連携を構築。圏域の看護研修ニーズ調査、研修会計画 自立支援協議会における医療的ケア児等代表コーディネーターの役割についての協議 医療的ケア児等コーディネーター（PT）による養護学校訪問、ケアスキルカンファランス。在学時間帯以外の児の様子や看護アセスメントの視点・手法を共有することを目指す。 	
木曾	特別支援学校への通学に際して看護師同乗の移動支援を実施。車両と運転は村の社協、同乗の看護師は看護協会訪問看護ステーションから派遣している	自立支援協議会（重心・医ケアコンダクターチーム）での研修会。基幹病院の小児科医・MSWの参加を得て、基幹病院を巻き込んだ資源開拓について協議	
松本	医療連携体制加算を活用して、医療的ケアの必要な児の放課後の居場所を確保している	圏域自立支援協議会こども部会にて医療的ケア児等の支援体制について、卒業後の医療的ケア児等の受け入れ体制に関する調査、医療的ケアが必要な児者の緊急時支援体制についての協議を行っている。	
大北		自立支援協議会こども支援部会の重心・医ケアWGを活用して大町保健福祉事務所が開催することになっている。これまでWGで把握してきた卒業後の居場所や短期入所等の確保等について協議をしていきたい。生活介護事業所にて、こども病院NICU看護師の地域生活支援看護実習研修を実施した。	
長野・長野市	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児等コーディネーター（看護職）による困難事例への助言、こども病院からの支援につないだ 新型コロナウイルス感染対策として、個々の児の感染対策個別支援計画/基本情報表の作成と自治体保健師との共有 医療的ケア児の通う地域小・中学校（25名、18校）への医療的ケア児等コーディネーター・スーパーバイザーによる巡回、助言。小学校職員対象に気管切開児の救急シミュレーション研修を実施 		
		<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会（ふくしねっと）での退院フローチャートについての検討 医療的ケア児等の通う事業所のための新型コロナウイルス感染対策マニュアルの作成に取り組む（スーパーバイザー協力） 	
北信		<ul style="list-style-type: none"> こども病院等高度医療機関からの退院フローチャート作成と、医療的ケア児等コーディネーターの役割の明確化の取り組み 圏域自立支援協議会におけるケースの共有 保健所所長による地域支援資源調査とその共有 	

特別支援学校改革事業

特別支援教育課

1 事業目的

～学びの力で未来を拓き、夢を実現する人づくり～
子ども、保護者のニーズに応える特別支援学校への改革



- 一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校の実現
- 地域社会、企業等とつながり、インクルーシブな社会をリード

2 事業概要

(1) 質の高い教育の実現

障がいの状態に合わせた教育課程を編成し、可能性を伸ばす質の高い教育を提供

- ① 特別支援学校専門性向上事業
 - ・ 自立活動担当教員 25 名増員による各校の専門性サポートチームの機能強化
 - ・ 全県のキャリアステージ別研修体系及び学習目標や評価、項目を示す各校のシラバス（年間授業計画）の作成
 - ・ 外部の専門家が、特別支援学校改革全体の評価を行い、その知見を教育委員会へフィードバックするシステムを構築
- ② 特別支援学校学習環境改善事業
 - ・ 学習意欲、身体機能、コミュニケーション能力等向上用の図書及び教材などの学習環境の整備
- ③ 外部専門家活用事業
 - ・ 一流の芸術家やスポーツ選手を活用した授業や医療関係者等による職員研修
- ④ 遠隔教育推進事業
 - ・ 重度重複障がい等により家庭で学ぶ児童生徒に対し、共に学び合える遠隔授業実施体系を確立

(2) インクルーシブな社会の実現

小中高等学校・地域・企業と特別支援学校が「協働の学び」のできる環境整備を推進

- ① 多様性を包み込む学校づくり支援事業
 - ・ LD 等通級指導教室の増設（61 教室→72 教室、サテライト教室の増設（2 教室→20 教室））
 - ・ 多層指導モデル構築の推進（読み指導プログラム MIM の実施校 6 校→12 校）
- ② 高等学校特別支援教育強化事業
 - ・ 高等学校における通級指導教室の増設（2 教室→3 教室（R2 年度松本筑摩））
- ③ 副学籍コーディネーター配置事業
 - ・ 副学籍コーディネーターの増員（2 名→4 名）
- ④ 就労支援総合推進事業
 - ・ 技能検定の拡充（清掃部門・喫茶部門＋食品加工部門）
 - ・ 就労コーディネーター（5 名）による雇用の場の創出

(3) 施設・設備

特別支援学校改革を支える計画的・効果的な施設整備の推進

- ① 特別支援教育連携協議会
 - ・ 特別支援学校の施設整備の基本方針の検討
- ② 松本・若槻養護学校基本方針検討
 - ・ 老朽化や環境改善のため早急な対応が必要な松本養護・若槻養護について、施設整備の基本方針と整備計画の作成
- ③ スクールバス等緊急整備事業
 - ・ スクールバス配置基準を策定の上、児童生徒の通学環境を整備（2 台の増車）

令和2年（2020年）11月1日

福祉・介護事業所の連携で
災害時要配慮者支援の仕組みづくりを
～災害福祉カンタンマップのチャレンジ～

長野県社会福祉協議会

令和元年東日本台風去害の反省点

外部支援者が把握した被災者情報を整理して被災地行政に提供できなかった。

① 在宅避難者調査(10月末) 長野市保健師(応援保健師)

・約4,000世帯

【課題】

- ・1/3程度が不在
- ・福祉アセスメントが欠けていた



保健師調査に同行する福祉チーム
(途中から同行を断られた。)

③ RST、賛育会等 による炊き出しと 生活ニーズ調査

・約400世帯



④ 長野市北部災害VC(11月末) 片付けと生活ニーズ調査

対象：約800世帯

【課題】

- ・多職種の外部支援者間の情報共有(紙カルテ)
- ・避難者名簿(行政DB)は行政職員が管理。
- ・災害VCとの被災者情報の共有

② 避難所 (写真は豊野西)



クラウドツールで外部支援者の情報を共有する。

災害福祉カン
タンマップ

提
供
ア
プ
リ

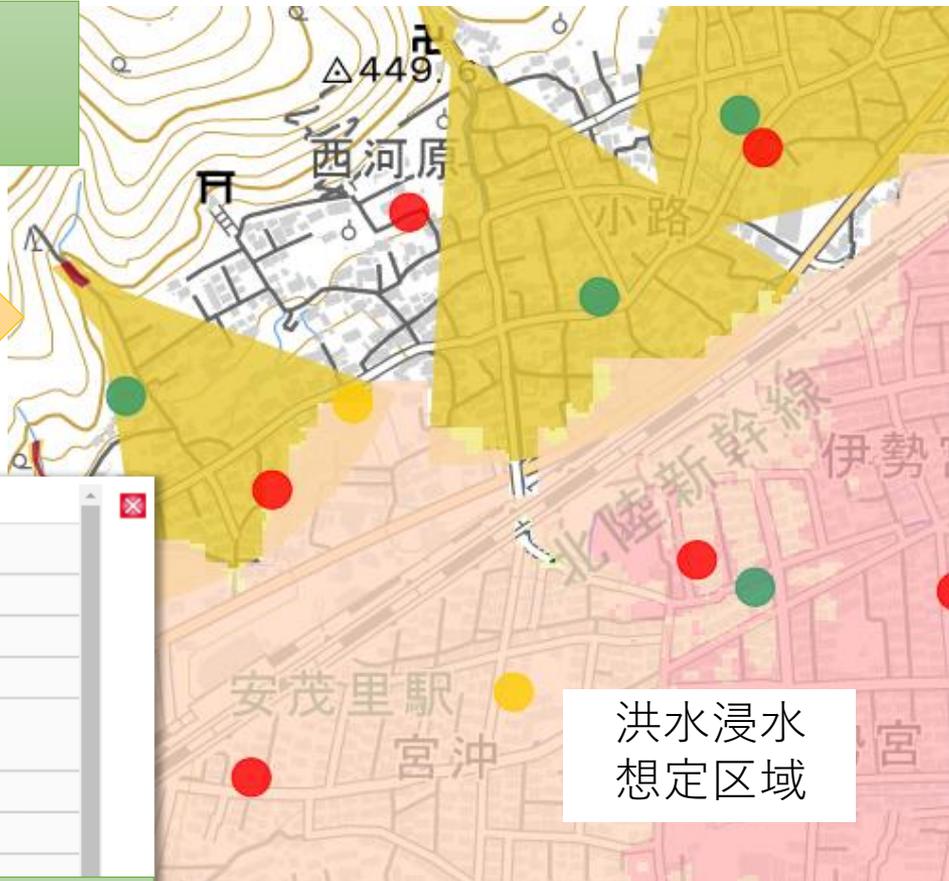
- ・長野県社協、（長野市社協）
- ・あっとクリエーション（大阪市）
- ・さくらネット（兵庫県西宮市）

シ
ス
テ
ム
基
本

- ・サイボウズ(株)
（災害支援プロジェクト）

①ハザード
レイヤー表示

土石流
警戒区域



洪水浸水
想定区域

PDF 出力

④印刷機能

サイズ: A0 A1 A2 A3 A4

向き: 横 縦

エリア設定

別紙

中心調整

画面を出力

出力サイズレベル:

表示分類

分類とラベル表示 矢印線表示

分類属性: ABC

マーカー色	部分一致の文字列	
●	C	3人
●	B	2人
●	A	6人

上へ
下へ
削除
全削除

③A B C、集計表示
（当該地区のみ表示）

全員一覧

No	67
氏名	氏名
ABC	A
同居家族支援	x
近隣支援	x
GH.その他	-
独居	x
備考	
住所(結合)	
分類	

②データベース
と連携
（閲覧権限管理機能）

●●●が災害時要配慮者のご自宅を示します。
※この図はサンプルデータです。
※地図の縮尺と○のサイズは、拡大縮小が可能です。

クラウドツールを平常時の支援に活かす。

市町村

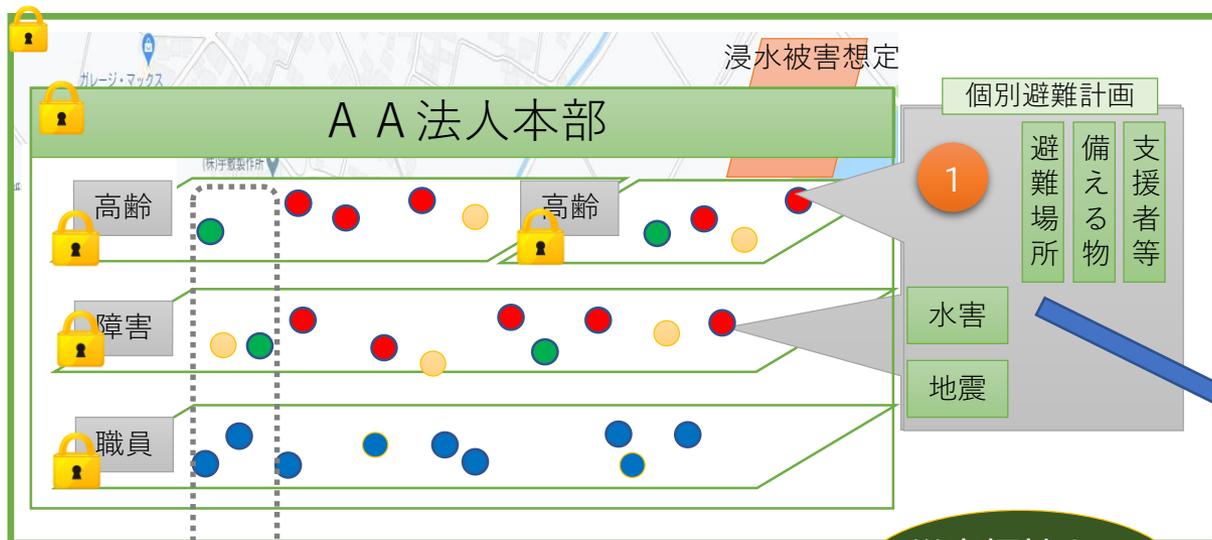
災害時要配慮者名簿情報



- 防災計画、避難所の指定状況と調整
- 避難所担当者と共有（体育課、教委等）
- 民間データ活用の仕組みの検討

民間の取組

- 在宅福祉サービス利用者のABCマップづくり
- 個別避難計画づくり



個別避難計画づくり

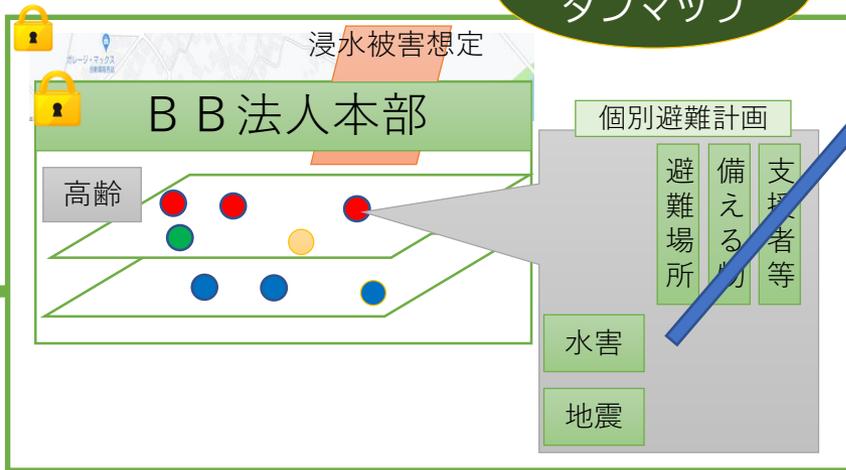
- 避難所の指定等を要望

事業所間で共有

3人避難希望

区分	避難先リスト
ショート	〇〇デイサービス
ショート	△△ホーム
福祉避難所	〇〇福祉センター
福祉避難所	△△就労支援事業所
一般避難所	〇〇小学校
一般避難所	〇〇公民館

災害福祉カンタンマップ



4

印刷システムの構築

- BCランクは、地域住民や障害当事者団体と連携
- マップに印刷して自治会長等に相談
- 例えば、定期的な情報更新を事業所が支援



災害福祉カンタンマップ 実証実験

- 趣旨
令和元年東日本台風災害の被災経験をふまえ、福祉・介護事業所と地域住民の協働により、災害時要支援者情報の包括的な把握を目指した「災害福祉カンタンマップ」の実証実験に取り組みます。
- 参加団体
長野県内の社会福祉法人及び社会福祉協議会（約20法人を予定）
- 事業期間 令和3年1月～12月
- 募集締切 令和2年11月末日
- 決定通知 令和2年12月中旬予定
- 説明会 令和3年1月中旬予定
- 取組内容 別記
- 県社協の役割
 - 導入時の支援、職員研修のアドバイス
・参画事業所が経費を負担する場合
・本会事業の一環として訪問指導する場合
 - 災害福祉カンタンマップの「災害派遣福祉チーム」「災害ボランティアセンター」の支援記録管理への応用検討
- 実証実験終了後の対応
 - 各法人で使用を継続
1ユーザー 年額 税込5万円程度
 - 各法人で使用しない場合
県社協がふくしチーム員やD S A T隊員に提供

災害福祉カンタンマップ

提供アプリ

- ・長野県社協、（長野市社協）
- ・あっとクリエーション（大阪市）
- ・さくらネット（兵庫県西宮市）

基本システム

- ・サイボウズ(株)
（災害支援プロジェクト）

7. 参画団体の事業内容

- ① 県社協の指導により、災害福祉カンタンマップを導入
- ② 各法人の在宅サービス利用者の「ABC分け」を実施、マップに読み込み。
- ③ ②を活用して各事業所の「非常災害対策計画」等の作成・改訂、職員研修等を実施
- ④ Aランク者の「個別避難計画」の作成
- ⑤ B, Cランク者の支援のため、当該地区の「支え合いマップ」づくりを働きかけ（大判紙に印刷して持参）
- ⑤ これらの取り組みをふまえた避難訓練の実施
- ⑥ 「個別避難計画」について市町村との調整、要望

・支え合いマップ
づくり支援

・事業所ABCマ
ップ作成支援

・安否
確認ア
プリ

・支え合いセンター(広島→長野)

・災害VC用カンタンマップ

・避難所支援用DBマップ

災害福祉カンタンマップ

長野県福祉人材センター
福祉・介護PR事業

信州共生みらい アイデアコンテスト2020

学びとイノベーション

福祉・介護の課題や困りごとを解決するため、様々な分野で学ぶ学生の皆さんから、各専門分野の知識を活かした、信州発の技術やサービス、アイデアを募集します。

募集内容 福祉×○○○のコラボにより、福祉・介護の課題解決やイノベーションを促せる技術、サービス、ビジネス・モデル等のアイデア
応募対象 高校、専門学校、高等専門学校、大学、短期大学等の学生チーム、生涯学習に係る学生チーム、サークルなど

◆ 80 チームがアイデアを競う

第2回目となるコンテストには、県内の高等学校、専門学校、大学から80チームのエントリーがありました。

1次審査（書類審査）を経て、2次審査へ13チームがノミネートされました。

10月16日、長野市内で開催した2次審査において、プレゼンテーション動画審査とオンライン質疑応答を行い各賞を決定しました。



テーマと部門

- テーマA 福祉当事者ニーズの解決、
- テーマB 福祉・介護職場のイノベーション
- テーマC 災害と地域づくり

- ①アイデア部門
：課題解決に向けた提案など
- ②ものづくり部門
：試作品も含む ものづくり

主催者 長野県 事業協力：長野県福祉人材センター「福祉全県PR事業」、協賛：長野県社会福祉法人経営者協議会 コンテスト事務局：長野県社会福祉協議会（25-FR/リボランテアセンター内）

信州共生みらい
アイデアコンテスト2020

受賞作品

受賞作品掲載 <https://fukkoro-fes.jp>

表彰	受賞チーム		テーマ
長野県知事賞 アイデア部門	上田千曲 高等学校	OHT ～おしごとひろめ隊～	障がいのある人たちの「仕事」魅力的な「商品」を社会に広めるための提案
長野県知事賞 ものづくり部門	駒ヶ根工業 高等学校	イッサとマブダチ	リフターProject～低コストで、未来を支え、技術でみんなを笑顔に～
長野県教育委員会賞 アイデア部門	長野工業 高等学校	物質化学の帝王	いつでも、どこでも君を導くやさしいポランティアマップ
長野県教育委員会賞 ものづくり部門	長野工業 高等学校	M2C	避難所がわかるジオラマ製作

長野県社会福祉 協議会会長賞	同学園トータル デザインガミー	近藤珠乃	使いやすい障害者手帳
長野県社会福祉法人 経営者協議会会長賞	信州大学	We'll チェア	車いすブレーキのかけ忘れを防ぐアラーム
長野県在宅福祉機器 協議会会長賞	信州大学	チーム肉塊	SOS!緊急時がわかるコールボタン
福祉を考える企業の 会会長賞	池田工業 高等学校	池工版「うたなすけ」ラ ンタン池工ワンチーム	グラメンゾン池工ワンチームカート製作
ソフトバンク 地域応援賞	長野工業高等 学校	ポヨヨグラム	よりよい防災マップ
	同学園トータル デザインガミー	三井夏音	視覚障がい者のおしゃれを支援
奨励賞	長野工業 高等学校	CHOCO	非常食のアレンジ
	長野工業 高等学校	C、E	幅広い世代の方々に参加してもらう高校生が立案したリアルな防災訓練
	上田千曲 高等学校	VR4Girls	VRで見てみようバリアの世界

令和2年度 第2回 長野県自立支援協議会 開催予定日

開催月	開催日	開催時間	開催方法
3月	16日(火)	13:30 ~15:00	Webまたは集合形式